

授業科目名	精 神 保 健 看 護 Ⅱ			担当教員	石飛 マリコ、高瀬 理恵子、 高橋 清美
開講年次	3 年前期	セメスター	5	時間数(単位数)	30 (1)
必修選択	必修	授業形態	演習	使用教室	
授業の目的	精神の健康が脅かされることによって生じる様々な影響を理解し、日常生活や社会生活の回復を促進し、共生していくための支援体制や看護に必要な知識、方法を習得する。				
到達目標	1. 精神に障害のある患者の状態、治療・検査方法について理解できる。 2. 精神に障害のある人の看護の共通な援助方法を理解できる。 3. 精神に障害された人の治療的環境を整えるための方法を理解できる。 4. 精神に障害のある人の看護過程の展開方法を理解できる。				
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	本科目は、精神保健看護に関する知識を用いて、対象者を全人的に捉えながらニーズを把握し看護実践を学ぶことから、「問題解決能力」が重要である。また、対象者とのかかわることで自らの思考や行動を継続的・自律的に内省するための知識・技術を獲得することから「自己教育力」を養うこととして位置付けている。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
		○		◎	
授業計画					
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者
1	精神科アセスメント（精神症状・状態像、セルフケアの把握）	講義	予習1) 疾病と治療Ⅳの精神科的疾患（脳の機能）の見直し 予習2) 教科書Ⅱの第5章 p223-351を精読	予習 / 1 時間 復習 / 1 時間	高橋
2	統合失調症を持つ人とその家族への看護（急性期看護） 隔離室における看護	講義 演習	以下を精読 予習1) 標準精神医学 第12章 予習2) 教科書Ⅱの第3章 p138-142、第4章p 194	予習 / 1 時間 復習 / 1 時間	石飛
3	統合失調症を持つ人とその家族への看護（回復期、慢性期看護）	講義 演習	統合失調症の病態・治療・検査・看護を復習する	予習 / 1 時間 復習 / 1 時間	石飛
4	気分・感情障害を持つ人とその家族への看護①	講義 演習	以下を精読 予習1) 標準精神医学 第13章 予習2) 教科書Ⅱの第3章 p143-146	予習 / 1 時間 復習 / 1 時間	高橋
5	気分・感情障害を持つ人とその家族への看護②	講義 演習	気分・感情障害の病態・治療・検査・看護を復習する	予習 / 1 時間 復習 / 1 時間	高橋
6	症状アセスメントとケアプラン（操作、依存状態、摂食行動障害、パニック障害、解離性障害、発達障害等）	講義	以下を精読 予習1) 標準精神医学 第9・10・11・14・15・16・20章 予習2) 教科書Ⅱ第5章該当ページ、教科書Ⅱ第3章p 146-160	予習 / 1 時間 復習 / 1 時間	石飛
7	精神療法、SST、認知行動療法を受けている患者の看護 提出物；薬物療法および精神療法・心理教育に関するレポート； 各項目 A41 枚以上 1200 字以上	講義	以下を精読 予習1) 教科書Ⅱの第2章p 94-117	予習 / 1 時間 復習 / 1 時間	石飛
8	アウトリーチ型精神医療と看護について	講義	予習1) 地域移行、退院支援に関する資料収集をする 予習2) 教科書Ⅰ p167-204, 教科書Ⅱ p203-222 を精読	予習 / 1 時間 復習 / 1 時間	渡邊 (ちはや ACT クリニック 院長)

9	精神看護における安全管理 (誤嚥性肺炎、水中毒、悪性症候群)	講義	予習1) 教科書Ⅱの第4章p 172-202	予習 / 1時間 復習 / 1時間	高瀬
10	精神障がい者とその家族の地域生活支援 精神科訪問看護、デイケアでの看護	講義	予習1) 精神障がい者とその家族の実態と支援、精神科訪問看護、デイケアに関する資料を収集する 予習2) 教科書Ⅰ p167-204, 教科書Ⅱ p203-222	予習 / 1時間 復習 / 1時間	石飛
11	精神看護における看護過程 —セルフケア理論の基づく観察・アセスメント・看護問題—	講義 演習	予習1) 事例を熟読しておくこと 予習2) 教科書Ⅱの第1章 p44-60	予習 / 1時間 復習 / 1時間	石飛
12	精神看護における看護過程 —セルフケア理論の基づく観察・アセスメント・看護問題—	講義 演習	予習1) 事例を熟読しておくこと 予習2) 教科書Ⅱの第1章p 44-60	予習 / 1時間 復習 / 1時間	石飛
13	精神看護における看護過程 —セルフケア理論に基づく看護目標と看護計画、評価—	講義 演習	予習1) 事例を熟読しておくこと 予習2) 教科書Ⅱの第1章p 44-60	予習 / 1時間 復習 / 1時間	石飛
14	精神看護における看護過程 グループ発表	演習 (発表・討議)	予習1) 事例を熟読しておくこと 予習2) 教科書Ⅱの第1章p 44-60	予習 / 1時間 復習 / 1時間	石飛
15	精神保健看護Ⅱの総括 定期試験へのフィードバック	講義 演習	予習1) 試験終了後の復習を行い、自己の課題を明確にする	予習 / 1時間 復習 / 1時間	石飛
先行履修科目		2年後期までに履修すべき全ての科目			
テキスト		吉松和哉 他 著：精神看護学Ⅰ 精神保健学，第6版．ノーヴェルヒロカワ，2016. 川野雅資 他 著：精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学，第6版．ノーヴェルヒロカワ，2016. 野村 総一郎 他 編集：標準精神医学 第7版．医学書院，2018.			
参考文献		井上令一：カプラン臨床精神医学テキスト DSM-5 診断基準の臨床への展開 第3版．メディカル・サイエンス・インターナショナル，2016. 中井久夫・山口直彦：第2版 看護のための精神医学，医学書院，2004. 長嶺敬彦：抗精神病薬の「身体副作用」がわかる．医学書院，2006. 宇佐美しおり 他：オレムのセルフケアモデル 事例を用いた看護過程の展開 第2版．ノーヴェルヒロカワ，2015.			
評価方法		授業への参加度（10％）、個人課題提出；看護過程（5％）、薬物療法および精神療法・心理教育に関するレポート；各項目 A41 枚以上 1200 字以上（5％）・定期試験（80％）にて評価する。			
教員等の実務経験		精神科看護師の臨床経験がある教員が、その経験を活かして、精神保健看護実践について講義します。			
メッセージ		授業後は、学んだ内容とそのポイントを明確にするための復習を1時間してください。本科目は、自己教育力を養う科目となっています。精神保健看護を学び、どのようなことを身につけたいか、第1講義目に目標を自分で設定し、その後、中間・最終評価をします。第7講義開始前にレポート提出をしてもらいます。第11講義目から第14講義までの間で、看護過程を展開します。第14講義終了後に個人で看護過程展開書式の課題提出をします。			